

第3回獣医師の需給に関する検討会議事概要

1 日時：平成19年4月25日（水）10：30～12：30

2 場所：農林水産省第1特別会議室

3 委員

石井 達郎	社団法人全国家畜畜産物衛生指導協会副会長
奥澤 康司	東京都福祉保健局参事
唐木 英明	東京大学名誉教授
苫米地 達生	群馬県農業局畜産課長
中川 秀樹	社団法人日本獣医師会副会長
山崎 恵子	ペット研究会「互」主宰
吉田 泰治	農林水産政策研究所主任研究官

：座長

敬称略、五十音順

4 議事概要

（1）資料に沿って事務局から説明。

（2）主な意見等については以下のとおり。

1 頭当たりの年間診療回数について

犬猫の1頭当たりの年間診療回数においては、今後10年間で20%増、10%増及び現状維持の3つのシナリオに基づき推計を行っているが、20%増のシナリオは現実的ではないのではないか。

獣医師1人による1日当たり診療可能頭数について

肉用牛においては、飼養規模の拡大による多頭飼育化の進展に伴い、獣医師1人による1日当たり診療可能頭数の増加が見込まれることから、それを勘案して産業動物診療分野の必要獣医師数を算出すべきではないか。

公務員獣医師の確保について

産業動物診療獣医師に加えて、公務員獣医師の確保が今後さらに困難になると予測される点について、報告書に記載すべきではないか。

（3）報告書の取りまとめについては座長に一任されたことから、今後、座長の指示に基づき事務局が所定の修正を行った上で、各委員の了承を得て、報告書として公表することとされた。